

NEWS RELEASE

Chugoku Bureau of Economy, Trade and Industry
<https://www.chugoku.meti.go.jp>



皆さんの「チャレンジ」を応援します！
経済産業省
中国経済産業局

令和2年11月12日

担当 参事官（調査担当） 大倉 司郎

TEL（082）224-5633

FAX（082）224-5641

中国地域の経済動向 (令和2年9月の指標を中心に)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している ～

中国地域の経済は、生産は持ち直している、個人消費は持ち直している、雇用は有効求人倍率が低下するなど、全体としては一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

■項目別の動向

1. 生産動向 . . . 持ち直している
2. 個人消費 . . . 持ち直している
3. 雇用 . . . 有効求人倍率は低下、新規求人数は増加
4. 景況感 . . . 現状、先行きともに上昇
5. 貿易 . . . 輸出、輸入ともに減少
6. 建設動向 . . . 公共工事は増加、住宅建設は減少
7. 企業倒産 . . . 件数、負債総額ともに減少
8. 設備投資 . . . 2020年度計画は前年度を下回る見込み(更新なし)

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。
※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

1. 生産動向 ～持ち直している～

(中国地域鉱工業生産動向 令和2年9月速報)

令和2年9月の鉱工業生産指数は94.3、前月比5.2%の上昇となった(平成27年=100、季節調整済)。出荷は上昇、在庫は低下、在庫率は上昇となった。

平成27年=100

項目	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	(89.6) 94.3	(1.4) 5.2	(83.7) 96.5	(▲9.2) ▲7.4
出荷	(87.0) 89.6	(2.4) 3.0	(81.6) 92.4	(▲10.9) ▲10.5
在庫	(100.9) 100.1	(▲0.8) ▲0.8	(102.2) 100.9	(▲3.6) ▲3.9
在庫率	(123.9) 126.2	(▲1.4) 1.9	(136.1) 124.4	(▲8.2) 13.5

()内の数値は前月の確報値

- (1) 生産は、前月比5.2%の上昇となった。(4か月連続で前月比上昇)
業種別では、汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業(自動車・同部品)、電気・情報通信機械工業などが上昇し、電子部品・デバイス工業、化学工業(除.医薬品)、窯業・土石製品工業などが低下した。
- (2) 出荷は、前月比3.0%の上昇となった。(4か月連続で前月比上昇)
業種別では、輸送機械工業(自動車・同部品)、電気・情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業などが上昇し、化学工業(除.医薬品)、石油・石炭製品工業、電子部品・デバイス工業などが低下した。
- (3) 在庫は、前月比▲0.8%の低下となった。(2か月連続で前月比低下)
業種別では、鉄鋼業、輸送機械工業(自動車・同部品)、食料品・たばこ工業などが上昇し、化学工業(除.医薬品)、汎用・生産用・業務用機械工業、非鉄金属工業などが低下した。
- (4) 在庫率は、前月比1.9%の上昇となった。(5か月ぶりに前月比上昇)

(5) 主要業種の生産動向(前月比%)

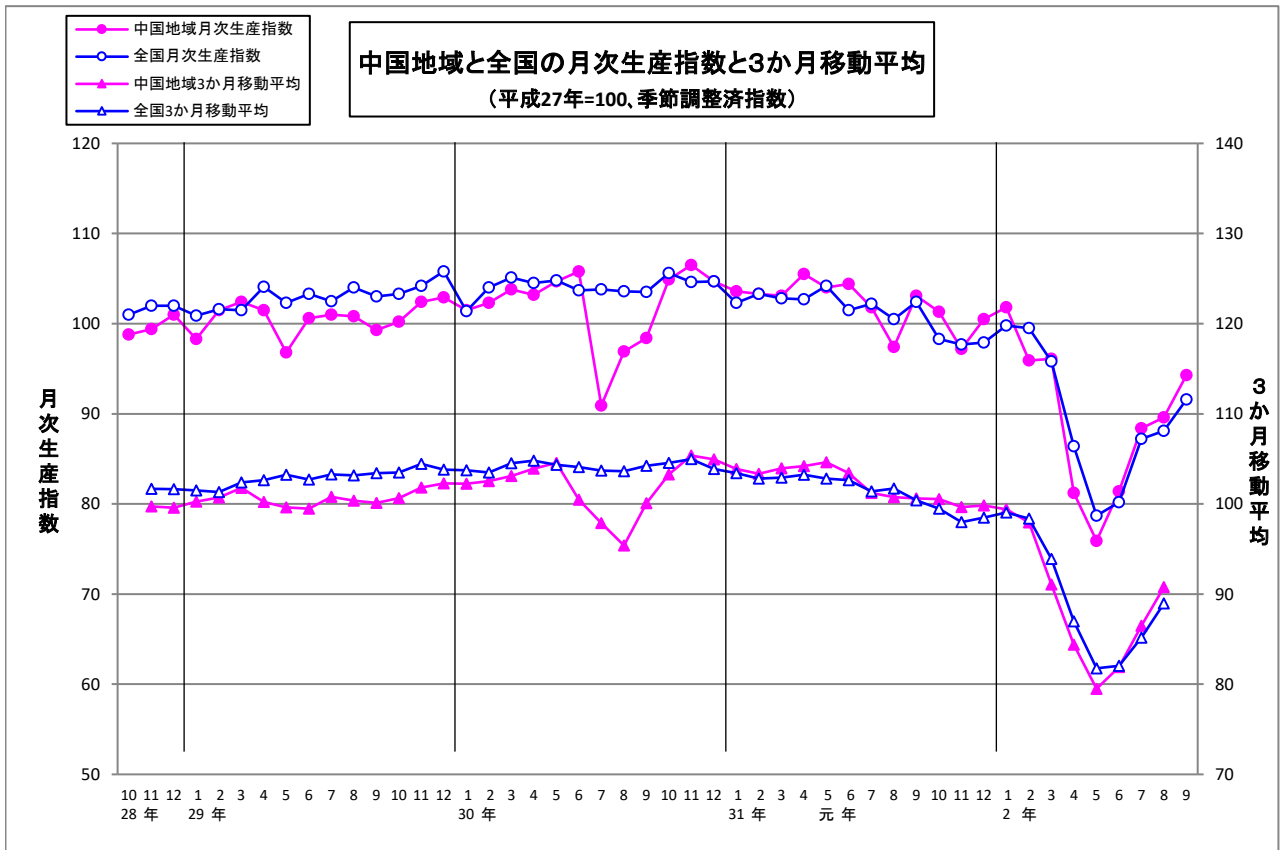
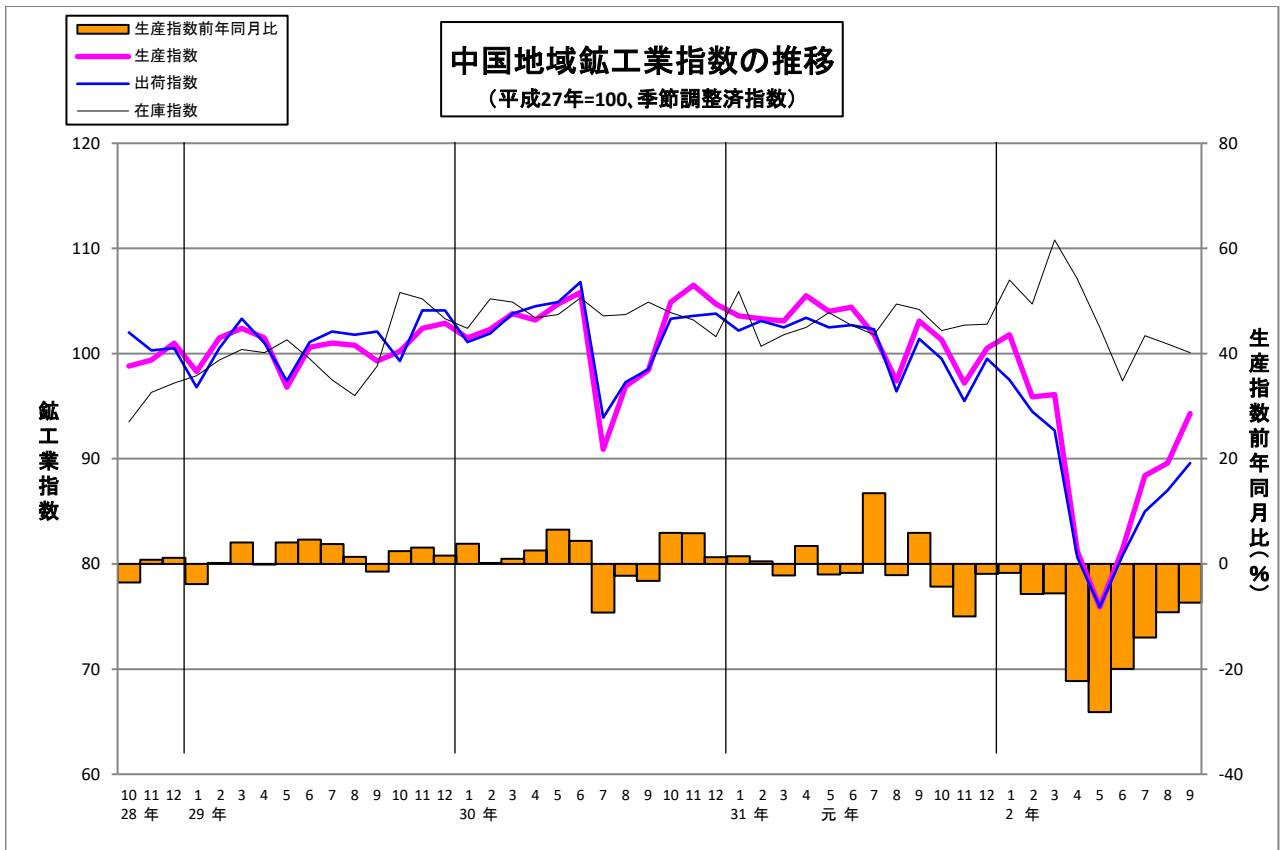
鉄鋼業	化学工業(除.医薬品)	輸送機械工業(自動車・同部品)	汎用・生産用・業務用機械工業	電子部品・デバイス工業
0.5	▲8.1	9.6	15.2	▲6.3

【参考：全国の動向】

—生産は持ち直している—

生産指数は91.6、前月比4.0%の上昇。出荷は上昇、在庫は低下、在庫率は低下であった。

(資料：中国経済産業局)



上昇・低下に寄与した主な業種とその品目(前月比)

＜生産の動向＞

上昇業種 12

低下業種 5

上昇した主な業種	前月比	前年同月比	上昇した主な品目
汎用・生産用・業務用機械工業	15.2	▲ 10.8	シヨベル系掘削機械、包装機械・荷造機械、圧縮機
輸送機械工業(自動車・同部品)	9.6	▲ 6.3	普通乗用車、軽乗用車、駆動伝導・操縦装置部品
電気・情報通信機械工業	21.1	▲ 0.1	一般用エンジン発電機、パーソナルコンピュータ、変圧器
低下した主な業種	前月比	前年同月比	低下した主な品目
電子部品・デバイス工業	▲ 6.3	15.0	モス型IC(メモリ)、アクティブ型液晶素子(中・小型)、コネクタ
化学工業(除. 医薬品)	▲ 8.1	▲ 18.0	スチレンモノマー、高純度テレフタル酸、合成ゴム
窯業・土石製品工業	▲ 1.5	▲ 10.3	セメント、石英ガラス製品等、遠心力鉄筋コンクリートポール

＜出荷の動向＞

上昇業種 11

低下業種 6

上昇した主な業種	前月比	前年同月比	上昇した主な品目
輸送機械工業(自動車・同部品)	16.8	▲ 5.6	普通乗用車、軽乗用車、駆動伝導・操縦装置部品
電気・情報通信機械工業	26.0	▲ 9.8	一般用エンジン発電機、パーソナルコンピュータ、自動車用電気照明器具
汎用・生産用・業務用機械工業	6.0	▲ 15.1	圧縮機、軸受、包装機械・荷造機械
低下した主な業種	前月比	前年同月比	低下した主な品目
化学工業(除. 医薬品)	▲ 9.3	▲ 12.3	スチレンモノマー、パラキシレン、ジフェニルメタンジイソシアネート
石油・石炭製品工業	▲ 9.5	▲ 14.9	揮発油、灯油、ナフサ
電子部品・デバイス工業	▲ 5.3	14.7	モス型IC(メモリ)、アクティブ型液晶素子(中・小型)、コネクタ

＜在庫の動向＞

上昇業種 8

低下業種 6

上昇した主な業種	前月比	前年同月比	上昇した主な品目
鉄鋼業	6.1	▲ 17.8	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼半製品
輸送機械工業(自動車・同部品)	2.3	▲ 18.0	普通乗用車、小型乗用車、軽トラック
食料品・たばこ工業	9.7	1.1	添加用アルコール、清涼飲料水、飼料
低下した主な業種	前月比	前年同月比	低下した主な品目
化学工業(除. 医薬品)	▲ 5.5	1.4	合成ゴム、スチレンモノマー、ポリエチレン
汎用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.7	27.6	トラクタ、研削盤、圧縮機
非鉄金属工業	▲ 14.0	▲ 21.1	電気銅、電気鉛、高純度多結晶シリコン

鉱工業指数表

〈中国地域〉

(平成27年=100)

	生産指数			出荷指数			在庫指数(末)			在庫率指数		
	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)
平成 29年	100.6	-	1.6	101.1	-	1.3	102.3	-	6.1	101.5	-	▲ 3.0
30年	102.0	-	1.4	102.0	-	0.9	99.7	-	▲ 2.5	107.2	-	5.6
令和 元年	101.8	-	▲ 0.2	100.7	-	▲ 1.3	100.8	-	1.1	111.8	-	4.3
令和 元年Ⅲ期	100.8	▲ 3.6	5.7	100.0	▲ 2.8	4.2	104.2	1.5	0.2	116.6	6.0	3.4
元年Ⅳ期	99.7	▲ 1.1	▲ 5.5	98.2	▲ 1.8	▲ 5.5	102.8	▲ 1.3	1.1	113.6	▲ 2.6	8.4
02年Ⅰ期	97.9	▲ 1.8	▲ 4.4	94.9	▲ 3.4	▲ 6.6	110.8	7.8	8.8	120.9	6.4	13.4
02年Ⅱ期	79.5	▲ 18.8	▲ 23.4	79.1	▲ 16.6	▲ 22.7	97.4	▲ 12.1	▲ 5.1	167.8	38.8	52.4
p 02年Ⅲ期	90.8	14.2	▲ 10.3	87.2	10.2	▲ 13.2	100.1	2.8	▲ 3.9	125.3	▲ 25.3	6.9
令和 元年06月	104.4	0.4	▲ 1.7	102.7	0.2	▲ 4.1	102.7	▲ 1.2	▲ 2.5	112.8	0.9	9.2
元年07月	101.8	▲ 2.5	13.5	102.3	▲ 0.4	11.0	101.8	▲ 0.9	▲ 2.7	103.5	▲ 8.2	▲ 11.3
元年08月	97.4	▲ 4.3	▲ 2.1	96.4	▲ 5.8	▲ 3.5	104.7	2.8	1.6	135.0	30.4	26.1
元年09月	103.1	5.9	5.9	101.4	5.2	4.8	104.2	▲ 0.5	0.2	111.2	▲ 17.6	▲ 4.9
元年10月	101.3	▲ 1.7	▲ 4.3	99.5	▲ 1.9	▲ 5.0	102.2	▲ 1.9	▲ 2.3	114.1	2.6	9.5
元年11月	97.2	▲ 4.0	▲ 10.0	95.5	▲ 4.0	▲ 9.3	102.7	0.5	▲ 0.4	113.8	▲ 0.3	9.0
元年12月	100.5	3.4	▲ 1.9	99.5	4.2	▲ 2.1	102.8	0.1	1.1	113.0	▲ 0.7	6.6
02年01月	101.8	1.3	▲ 1.7	97.5	▲ 2.0	▲ 4.6	107.0	4.1	1.0	114.8	1.6	7.3
02年02月	95.9	▲ 5.8	▲ 5.7	94.5	▲ 3.1	▲ 6.6	104.7	▲ 2.1	3.9	117.3	2.2	13.0
02年03月	96.1	0.2	▲ 5.6	92.7	▲ 1.9	▲ 8.4	110.8	5.8	8.8	130.7	11.4	21.3
02年04月	81.2	▲ 15.5	▲ 22.3	80.6	▲ 13.1	▲ 21.6	107.1	▲ 3.3	4.5	191.8	46.7	82.1
02年05月	75.9	▲ 6.5	▲ 28.2	75.9	▲ 5.8	▲ 27.4	102.5	▲ 4.3	▲ 1.3	185.8	▲ 3.1	66.2
02年06月	81.4	7.2	▲ 19.9	80.8	6.5	▲ 19.3	97.4	▲ 5.0	▲ 5.1	125.8	▲ 32.3	11.5
02年07月	88.4	8.6	▲ 14.0	85.0	5.2	▲ 17.5	101.7	4.4	▲ 0.1	125.7	▲ 0.1	21.5
r 02年08月	89.6	1.4	▲ 9.2	87.0	2.4	▲ 10.9	100.9	▲ 0.8	▲ 3.6	123.9	▲ 1.4	▲ 8.2
p 02年09月	94.3	5.2	▲ 7.4	89.6	3.0	▲ 10.5	100.1	▲ 0.8	▲ 3.9	126.2	1.9	13.5

〈全国〉

(平成27年=100)

	生産指数			出荷指数			在庫指数(末)			在庫率指数		
	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)	指数	前月 (期比)	前年 (同月期)
平成 29年	103.1	-	3.1	102.2	-	2.5	98.8	-	4.1	100.6	-	▲ 0.4
30年	104.2	-	1.1	103.0	-	0.8	100.5	-	1.7	104.6	-	4.0
令和 元年	101.1	-	▲ 3.0	100.2	-	▲ 2.7	101.7	-	1.2	109.6	-	4.8
令和 1年Ⅲ期	101.7	▲ 1.1	▲ 1.1	101.3	▲ 0.1	▲ 0.2	103.3	▲ 1.1	0.9	109.3	1.9	3.9
1年Ⅳ期	98.0	▲ 3.6	▲ 6.8	97.3	▲ 3.9	▲ 6.5	104.0	0.7	1.2	114.6	4.8	9.4
02年Ⅰ期	98.4	0.4	▲ 4.5	96.7	▲ 0.6	▲ 5.2	106.4	2.3	2.9	116.5	1.7	10.3
02年Ⅱ期	81.8	▲ 16.9	▲ 19.8	80.5	▲ 16.8	▲ 19.9	100.8	▲ 5.3	▲ 3.4	141.7	21.6	30.9
p 02年Ⅲ期	89.0	8.8	▲ 12.7	87.8	9.1	▲ 13.5	97.7	▲ 3.1	▲ 5.5	122.5	▲ 13.5	12.7
令和 元年06月	101.5	▲ 2.6	▲ 3.9	99.5	▲ 3.2	▲ 4.9	104.4	0.6	3.0	109.4	2.2	6.6
元年07月	102.2	0.7	0.8	102.0	2.5	2.1	104.3	▲ 0.1	2.4	108.5	▲ 0.8	0.8
元年08月	100.5	▲ 1.7	▲ 5.5	100.0	▲ 2.0	▲ 5.0	104.2	▲ 0.1	2.4	110.7	2.0	8.7
元年09月	102.4	1.9	1.2	101.8	1.8	2.1	103.3	▲ 0.9	0.9	108.8	▲ 1.7	1.9
元年10月	98.3	▲ 4.0	▲ 8.2	98.2	▲ 3.5	▲ 7.6	104.1	0.8	2.5	113.1	4.0	9.5
元年11月	97.7	▲ 0.6	▲ 8.5	96.8	▲ 1.4	▲ 8.0	103.6	▲ 0.5	1.5	115.0	1.7	12.3
元年12月	97.9	0.2	▲ 3.7	97.0	0.2	▲ 3.8	104.0	0.4	1.2	115.6	0.5	6.2
02年01月	99.8	1.9	▲ 2.4	97.9	0.9	▲ 3.3	106.2	2.1	3.6	115.2	▲ 0.3	9.3
02年02月	99.5	▲ 0.3	▲ 5.7	98.9	1.0	▲ 5.4	104.4	▲ 1.7	1.6	112.5	▲ 2.3	9.4
02年03月	95.8	▲ 3.7	▲ 5.2	93.2	▲ 5.8	▲ 6.5	106.4	1.9	2.9	121.9	8.4	12.6
02年04月	86.4	▲ 9.8	▲ 15.0	84.3	▲ 9.5	▲ 16.6	106.1	▲ 0.3	2.7	138.5	13.6	29.2
02年05月	78.7	▲ 8.9	▲ 26.3	76.8	▲ 8.9	▲ 26.8	103.3	▲ 2.6	▲ 0.5	148.6	7.3	40.7
02年06月	80.2	1.9	▲ 18.2	80.5	4.8	▲ 16.6	100.8	▲ 2.4	▲ 3.4	138.0	▲ 7.1	22.5
02年07月	87.2	8.7	▲ 15.5	85.8	6.6	▲ 16.6	99.3	▲ 1.5	▲ 4.8	125.7	▲ 8.9	17.6
r 02年08月	88.1	1.0	▲ 13.8	87.1	1.5	▲ 14.2	98.0	▲ 1.3	▲ 5.9	123.2	▲ 2.0	13.0
p 02年09月	91.6	4.0	▲ 9.0	90.4	3.8	▲ 9.9	97.7	▲ 0.3	▲ 5.5	118.6	▲ 3.7	7.5

注1. 四半期・月次の指数及び前月(期)比は、季節調整済指数。年次の指数及び前年(同月期)比は、原指数。

注2. 各比率は、伸び率(%)。

注3. rは修正値、pは暫定値。

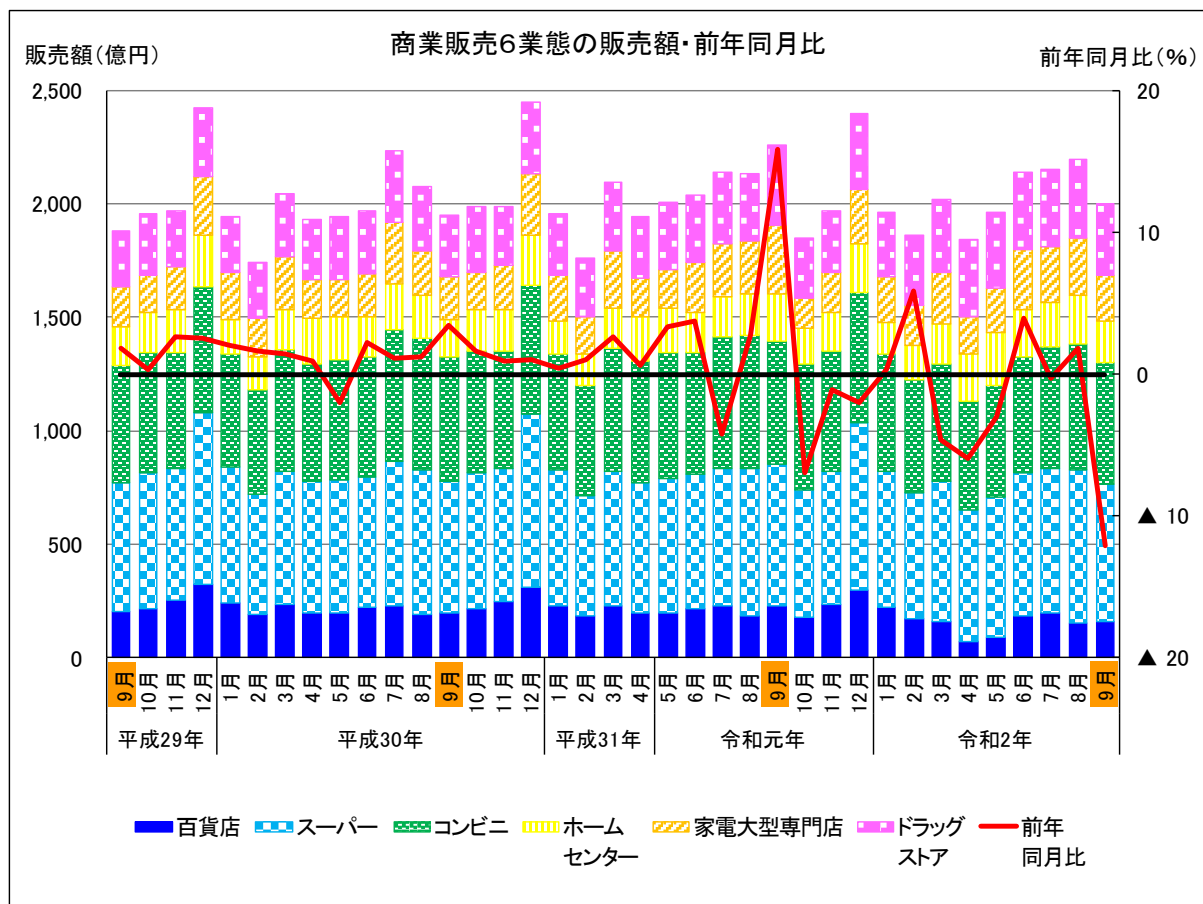
2. 個人消費 ～ 持ち直している ～

9月の商業6業態の販売額は1,999億円で、前年同月比▲12.0%と2か月ぶりに前年を下回った。

9月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車全てが前年を下回り、同▲14.8%と12か月連続で前年を下回った。また、9月の消費者物価指数（総合(生鮮を除く)）は前年同月比▲0.4%の下落となった。

(1) 商業6業態（9月）

		(百万円)	(全店舗、%)	
(6業態における構成比)	販売額	前年同月比	(前月の前年同月比)	
6業態	199,937	▲12.0	2か月ぶり マイナス	(1.8)
百貨店・スーパー (38.4%)	76,766	▲11.9	7か月連続 マイナス	(▲3.0)
百貨店 (8.0%)	15,960	▲31.4	12か月連続 マイナス	(▲17.4)
スーパー (30.4%)	60,806	▲4.7	5か月ぶり マイナス	(1.0)
コンビニエンスストア (26.6%)	53,164	▲2.4	7か月連続 マイナス	(▲5.2)
ホームセンター (9.3%)	18,541	▲8.1	8か月ぶり マイナス	(16.9)
家電大型専門店 (10.2%)	20,332	▲33.1	5か月ぶり マイナス	(8.7)
ドラッグストア (15.6%)	31,134	▲11.5	11か月ぶり マイナス	(15.1)



- ・百貨店の販売額は160億円で、前年同月比▲31.4%と12か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は608億円で、前年同月比▲4.7%と5か月ぶりに前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は532億円で、前年同月比▲2.4%と7か月連続で前年を下回った。
- ・ホームセンターの販売額は185億円で、前年同月比▲8.1%と8か月ぶりに前年を下回った。
- ・家電大型専門店の販売額は203億円で、前年同月比▲33.1%と5か月ぶりに前年を下回った。
- ・ドラッグストアの販売額は311億円で、前年同月比▲11.5%と11か月ぶりに前年を下回った。

(単位:百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
H29年	278,770	▲ 2.0	16	719,663	0.2	301	626,861	2.3	3,048
H30年	269,315	▲ 3.4	16	724,917	0.7	308	639,922	2.1	3,105
R1年	261,347	▲ 3.0	15	724,588	▲ 0.0	311	652,669	2.0	3,125
R1年9月	23,281	16.9	15	62,099	6.8	311	54,470	▲ 0.3	3,139
10月	17,977	▲ 17.7	15	56,194	▲ 5.8	311	55,111	2.8	3,141
11月	23,378	▲ 6.0	15	58,585	0.3	311	53,169	2.0	3,136
12月	29,790	▲ 5.1	15	74,128	▲ 2.1	311	57,295	0.4	3,125
R2年1月	22,620	▲ 0.4	15	59,311	▲ 0.9	311	51,923	1.1	3,130
2月	17,002	▲ 8.5	14	55,453	5.0	311	49,935	3.3	3,125
3月	15,879	▲ 30.6	14	61,736	1.1	324	51,566	▲ 5.0	3,124
4月	7,465	▲ 61.9	14	57,668	▲ 2.4	323	48,170	▲ 9.9	3,129
5月	8,864	▲ 55.1	14	61,867	1.4	323	49,585	▲ 10.0	3,131
6月	18,450	▲ 15.2	14	63,107	4.1	323	51,249	▲ 5.0	3,137
7月	19,859	▲ 12.9	14	63,815	1.8	323	53,482	▲ 7.0	3,137
8月	15,575	▲ 17.4	14	67,042	1.0	323	55,528	▲ 5.2	3,140
9月	15,960	▲ 31.4	14	60,806	▲ 4.7	323	53,164	▲ 2.4	3,140

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
H29年	219,894	0.7	408	237,072	3.9	170	312,617	6.8	777	2,394,876	1.7
H30年	217,446	▲ 1.1	409	241,616	1.9	172	332,238	6.3	813	2,425,454	1.3
R1年	213,200	▲ 2.0	405	249,679	3.3	174	353,077	6.3	844	2,454,561	1.2
R1年9月	20,181	23.6	405	30,369	58.4	172	35,191	32.3	839	225,591	15.8
10月	15,694	▲ 13.9	404	13,213	▲ 18.6	172	26,456	▲ 8.4	839	184,645	▲ 7.0
11月	17,139	▲ 5.0	406	17,366	▲ 9.5	174	27,120	3.3	841	196,757	▲ 1.1
12月	20,988	▲ 4.6	405	24,298	▲ 9.3	174	33,217	4.7	844	239,716	▲ 2.0
R2年1月	14,115	▲ 3.4	404	19,918	▲ 1.3	173	28,172	5.0	846	196,059	0.3
2月	15,009	6.9	404	17,869	7.2	174	30,869	21.7	845	186,137	5.9
3月	18,117	2.7	404	22,279	▲ 10.8	174	32,089	4.9	841	201,666	▲ 4.6
4月	20,751	7.0	404	16,473	▲ 4.6	175	33,948	24.3	844	184,475	▲ 5.9
5月	22,995	16.2	404	19,678	14.9	175	33,252	12.3	845	196,241	▲ 3.0
6月	20,784	19.3	405	26,404	19.0	176	33,871	13.9	846	213,865	4.0
7月	19,499	9.4	405	24,662	7.3	176	33,523	5.8	846	214,841	▲ 0.3
8月	<u>21,607</u>	<u>16.9</u>	405	25,046	8.7	176	<u>34,515</u>	15.1	846	<u>219,313</u>	1.8
9月	18,541	▲ 8.1	406	20,332	▲ 33.1	176	31,134	▲ 11.5	849	199,937	▲ 12.0

注1: 下線部は事業所からの修正を反映した数値。

注2: 百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3: 表中の数値は全店ベースの数値。

注4: 令和2年3月分から調査対象事業所の見直しを行ったため、令和2年2月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じている。したがって、令和2年2月分以前の月間販売額などにリンク係数を乗じたものが令和2年3月分以降と接続する。

管内百貨店・スーパー業態別販売状況
(令和2年9月分速報)

中国経済産業局
単位：百万円、%

項目等		合計（百貨店＋スーパー）				百貨店				スーパー				
		販売額	構成比	前年同月比 %		販売額	構成比	前年同月比 %		販売額	構成比	前年同月比 %		
				全店舗	既存店			全店舗	既存店			全店舗	既存店	
合計		76,766	100.0	▲ 11.9	▲ 11.0	15,960	100.0	▲ 31.4	▲ 28.2	60,806	100.0	▲ 4.7	▲ 4.9	
商 品 名	衣 料 品	計	7,727	10.1	▲ 34.2	▲ 32.7	4,434	27.8	▲ 35.9	▲ 33.2	3,293	5.4	▲ 31.8	▲ 31.9
		紳士服・洋品	1,392	1.8	▲ 35.0	▲ 33.4	635	4.0	▲ 36.8	▲ 33.1	757	1.2	▲ 33.4	▲ 33.6
		婦人・子供服・洋品	5,601	7.3	▲ 32.6	▲ 31.1	3,484	21.8	▲ 34.3	▲ 31.9	2,117	3.5	▲ 29.7	▲ 29.7
		その他の衣料品	734	1.0	▲ 43.6	▲ 41.9	316	2.0	▲ 48.8	▲ 45.5	419	0.7	▲ 38.8	▲ 38.7
	身の回り品	3,281	4.3	▲ 28.6	▲ 26.7	2,076	13.0	▲ 28.9	▲ 25.9	1,205	2.0	▲ 28.1	▲ 28.1	
	飲食物品	52,044	67.8	0.7	1.0	4,124	25.8	▲ 19.8	▲ 15.0	47,920	78.8	2.8	2.7	
	家 庭 用 品	計	2,667	3.5	▲ 24.2	▲ 22.8	849	5.3	▲ 28.8	▲ 25.7	1,818	3.0	▲ 21.8	▲ 21.3
		家具	464	0.6	▲ 29.5	▲ 27.7	299	1.9	▲ 32.6	▲ 30.3	165	0.3	▲ 22.8	▲ 22.3
		家庭用電気機械器具	571	0.7	▲ 28.2	▲ 27.1	99	0.6	▲ 10.0	▲ 6.9	472	0.8	▲ 30.9	▲ 30.5
		その他の家庭用品	1,632	2.1	▲ 21.0	▲ 19.8	451	2.8	▲ 29.3	▲ 25.8	1,181	1.9	▲ 17.3	▲ 17.1
その他の商品	10,534	13.7	▲ 28.4	▲ 27.1	4,039	25.3	▲ 37.1	▲ 34.0	6,494	10.7	▲ 21.4	▲ 21.8		
食堂・喫茶	513	0.7	▲ 34.3	▲ 31.8	437	2.7	▲ 36.3	▲ 33.5	76	0.1	▲ 19.9	▲ 19.9		
販 売 効 率 等	商品券	582	—	▲ 31.6	▲ 30.5	423	—	▲ 23.0	▲ 20.4	160	—	▲ 47.4	▲ 48.5	
	月末従業者数（人）	34,947	—	▲ 1.0	▲ 0.3	3,461	—	▲ 9.9	▲ 4.3	31,486	—	0.1	0.2	
	1店舗当りの営業日数	30.0	—	0.0	—	29.7	—	▲ 1.0	—	30.0	—	0.0	—	
	商店数	337	—	▲ 0.6	—	14	—	▲ 6.7	—	323	—	▲ 0.3	—	
	月末売場面積（㎡）	1,924,526	—	▲ 1.5	▲ 0.3	378,078	—	▲ 5.5	0.1	1,546,448	—	▲ 0.5	▲ 0.3	
	1㎡当りの販売額（万円）	4.0	—	▲ 9.1	▲ 11.4	4.1	—	▲ 26.8	▲ 28.1	3.9	—	▲ 4.9	▲ 4.9	
従業員1人当りの販売額（万円）	219.7	—	▲ 11.0	▲ 10.7	461.1	—	▲ 23.9	▲ 24.9	193.1	—	▲ 4.9	▲ 5.1		

注1：この統計における百貨店及びスーパーとは、従業員50人以上の小売事業所であって次に該当するもの

- (1) 百貨店：日本標準産業分類の百貨店のうち(2)のスーパーに該当しない事業所であって、かつ、売場面積が政令指定都市で3,000㎡以上、その他の地域では1,500㎡以上の事業所。
- (2) スーパー：売場面積の50%以上についてセルフサービス方式を採用し、かつ売場面積が1,500㎡以上の事業所。

注2：ここで使用した数値は、別途経済産業省が公表する数値と相違があり得る。

販売額（含消費税）及び構成比は、全店舗ベースの数値。

注3：売場面積1㎡当たり販売額は、食堂・喫茶の販売額を除いた販売額で計算している。

★★9月のうごき（各店舗の声から）★★

気温：対平年+0.6℃ 対前年▲1.3℃

【百貨店】

新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少、台風による臨時休業、また前年に消費増税前の販売増があったことから化粧品や宝飾品、時計、衣料品、食料品などの販売が低調だった。

【スーパー】

前年に消費増税前の販売増があったことから紙製品や洗剤類などの販売が減少したほか、新型コロナウイルス感染症の影響もあり化粧品や衣料品の販売が低調だった。一方、引き続き内食需要の高まりにより生鮮食品など食料品の販売は増加した。

【コンビニエンスストア】

10月1日のたばこ税増税前の駆け込み需要によりたばこの販売は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少したことから、おにぎりや弁当、ソフトドリンクなどの販売が低調だった。

【ホームセンター】

前年に消費増税前の販売増があったことから紙製品や洗剤類などの販売が減少した。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により木材や塗料、工具などの販売が増加したほか、台風への備えによる養生テープやブルーシートなどの販売も増加した。

【家電大型専門店】

前年に消費増税前の販売増があったほか、日曜日が1日少なかった影響などから販売額が減少した。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き空気清浄機の販売が増加した。

【ドラッグストア】

前年に消費増税前の販売増があったことから化粧品や紙製品などの販売が減少した。一方、新型コロナウイルス感染症の影響によりマスクなどのほか、冷凍食品などの食品の販売が増加した。

（資料：中国経済産業局）

(2) 乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2017年	2018年	2019年	2020年 1-3月	4-6月	7-9月	2020年 6月	7月	8月	9月
乗用車新車登録・ 届出数	中国	6.6	1.5	▲ 4.0	▲ 9.1	▲ 31.9	▲ 12.9	▲ 19.6	▲ 10.0	▲ 13.5	▲ 14.8
	普通乗用車							▲ 27.8	▲ 21.8	▲ 20.6	▲ 18.9
	小型乗用車							▲ 15.0	▲ 15.3	▲ 6.9	▲ 12.1
	軽乗用車							▲ 16.2	3.2	▲ 12.5	▲ 13.3
	全国	5.8	0.1	▲ 2.0	▲ 10.1	▲ 32.9	▲ 14.1	▲ 22.7	▲ 12.8	▲ 14.8	▲ 14.7

(資料 中国運輸局)

(3) 消費者物価指数

(前年同月(期)比%)

		2017年	2018年	2019年	2020年 1-3月	4-6月	7-9月	2020年 6月	7月	8月	9月
消費者物価指数 【27年基準・総合(生鮮除く)】	中国	0.6	0.7	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1	0.0	▲ 0.4	▲ 0.4
	全国	0.5	0.9	0.6	0.6	▲ 0.1	▲ 0.2	0.0	0.0	▲ 0.4	▲ 0.3

(資料 総務省)

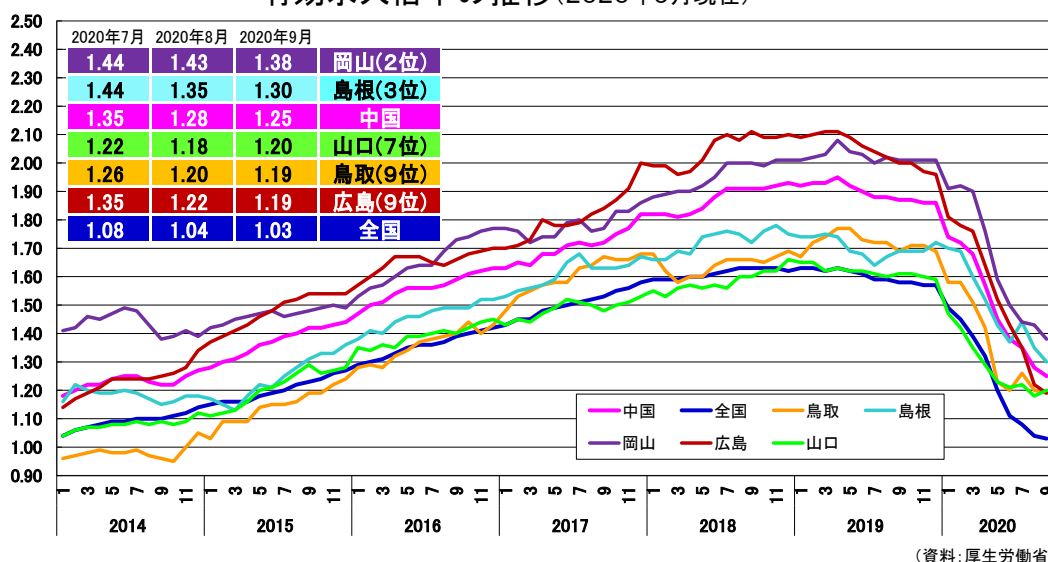
3. 雇用 ～ 有効求人倍率は低下、新規求人数は増加 ～

9月の有効求人倍率は1.25となり、前月から0.03ポイント低下と9か月連続で低下した。また、新規求人数（季節調整値）は前月比1.0%と3か月ぶりに増加した。

(季節調整値)※1		2017年	2018年	2019年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	
					1-3月	4-6月	7-9	6月	7月	8月	9月
有効求人倍率	中国	1.71	1.87	1.90	1.72	1.47	1.29	1.38	1.35	1.28	1.25
	全国	1.50	1.61	1.60	1.44	1.21	1.05	1.11	1.08	1.04	1.03
新規求人倍率	中国	2.55	2.77	2.79	2.57	2.22	2.20	2.15	2.18	2.10	2.32
	全国	2.24	2.39	2.42	2.17	1.81	1.85	1.72	1.72	1.82	2.02
新規求人数 上段:人 下段:前期(月)比%	中国	68,824	72,127	71,073	63,123	53,664	53,564	55,990	54,764	52,690	53,237
	全国	962,766	976,762	958,768	842,037	690,043	729,536	742,491	705,859	723,747	759,002
完全失業率※2	中国	2.5	2.4	2.4	2.2	2.2	2.6	-	-	-	-
	全国	2.8	2.4	2.4	2.4	2.8	3.0	2.8	2.9	3.0	3.0

(資料：厚生労働省、総務省)

有効求人倍率の推移(2020年9月現在)

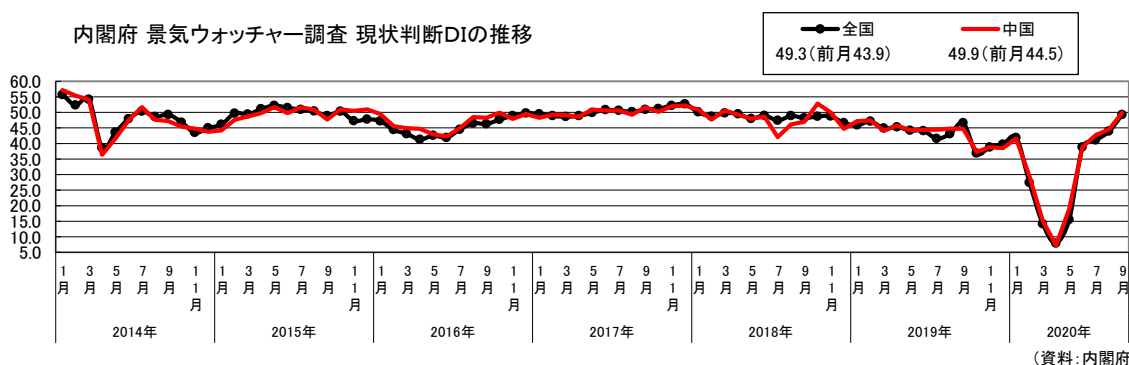


(資料：厚生労働省)

4. 景況感 ～ 現状、先行きともに上昇 ～

内閣府の景気ウォッチャー調査（令和2年9月調査結果）によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DI（方向性）は49.9、前月差5.4ポイントの上昇となった。2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは49.7、同6.6ポイントの上昇となった。景気の現状水準判断DIは34.5、同5.2ポイントの上昇となった。

内閣府 景気ウォッチャー調査 現状判断DIの推移



(資料：内閣府)

※1 年計は原数値。年、四半期は平均。2019年12月以前の数値は、2020年1月分公表時に新季節指数により改定。

※2 月次は季節調整値。

5. 貿易 ～ 輸出、輸入ともに減少 ～

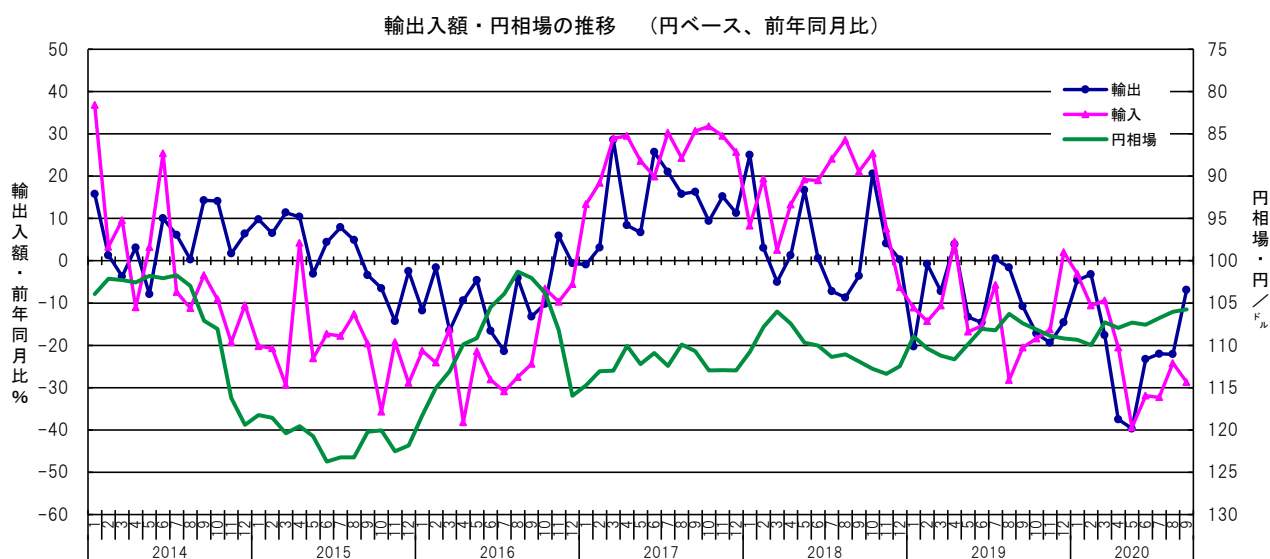
9月の輸出は、前年同月比▲6.9%と14か月連続で前年を下回った。品目別では、鉄鋼、石油製品などが前年を下回った。地域別では、アジア、西欧向けなどが前年を下回った。

9月の輸入は、前年同月比▲28.7%と9か月連続で前年を下回った。品目別では、原油及び粗油、石油製品などが前年を下回った。

(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)

			2017年	2018年	2019年	2020年 1-3月	4-6月	7-9月	2020年 6月	7月	8月	9月
輸出	総合	中国地域	13.3	3.4	▲10.1	▲8.8	▲33.6	▲17.1	▲23.3	▲22.0	▲22.1	▲6.9
		全 国	11.8	4.1	▲5.6				▲26.2	▲19.2	▲14.8	▲4.9
	自動車(中国地域) ^{※3}	0.3	9.5	4.0				▲48.8	▲27.5	▲21.7	14.0	
	鉄鋼(中国地域) ^{※3}	22.3	6.0	▲15.3				▲25.7	▲34.1	▲28.5	▲38.4	
輸入	総合	中国地域	25.2	14.6	▲12.9	▲7.6	▲30.2	▲28.7	▲31.9	▲32.3	▲24.2	▲28.7
		全 国	14.1	9.7	▲5.0				▲14.4	▲22.3	▲20.7	▲17.4
	原油(中国地域) ^{※3}	28.9	30.1	▲27.2				▲56.6	▲53.3	▲36.0	▲56.0	
	石炭(中国地域) ^{※3}	65.0	5.9	▲12.2				▲35.0	▲49.5	▲36.8	▲33.4	
為替 ^{※4}	円/ドル	112.16	110.39	109.01	108.86	107.60	106.19	107.56	106.78	106.04	105.74	

(資料 : 財務省、日本銀行)



※3 月次は速報値

※4 為替は東京インターバンク相場 (スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～ 公共工事は増加、住宅建設は減少～

9月の公共工事請負金額は、その他公共的団体で前年を下回ったものの、国、独立行政法人等、県、市町村で前年を上回り、合計では前年同月比13.6%と2か月連続で前年を上回った。

9月の新設住宅着工戸数は、給与住宅、分譲住宅で前年を上回ったものの、持家、貸家で前年を下回り、合計では前年同月比▲4.7%と6か月連続で前年を下回った。

(前年同月(期)比%)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年1-3月	4-6月	7-9月	2020年6月	7月	8月	9月
公共工事請負金額	中国	▲7.1	9.9	18.6	4.0	0.8	2.5	▲5.6	▲12.4	11.9	13.6
	全国	▲4.3	1.2	6.8	7.1	3.4	7.5	13.2	▲4.1	13.2	17.1
新設住宅着工戸数	中国	4.3	▲2.8	▲7.0	▲18.8	▲20.6	▲9.2	▲28.7	▲15.2	▲7.6	▲4.7
	全国	▲2.8	0.7	▲7.3	▲9.9	▲12.4	▲10.1	▲12.8	▲11.3	▲9.1	▲9.9

(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証㈱広島支店)、
「同(全国)」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)
「新設住宅着工戸数」(国土交通省))

7. 企業倒産 ～ 件数、負債総額ともに減少～

9月の企業倒産件数は20件で、前年同月比▲25.9%と4か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は31億1,700万円で、同▲31.9%と4か月ぶりに前年を下回った。

業種別にみると、サービス業他が11件と最も多く、次いで建設業が4件などとなった。

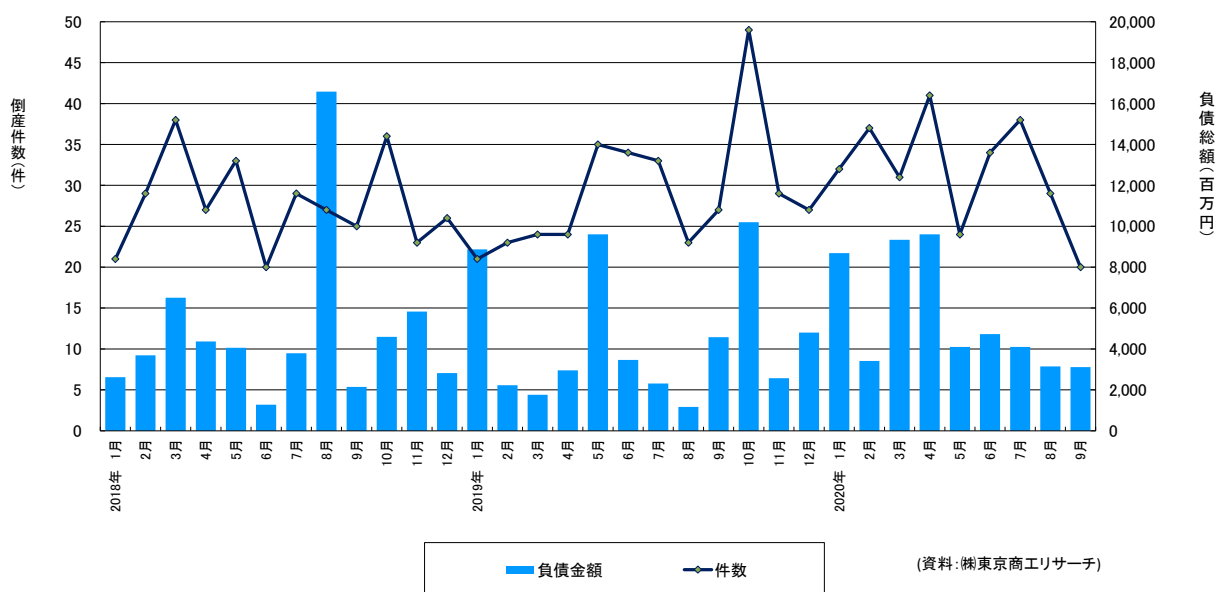
原因別にみると、販売不振が15件と最も多かった。

(前年同月(期)比%)

		2017年	2018年	2019年	2020年1-3月	4-6月	7-9月	2020年6月	7月	8月	9月
企業倒産件数	中国	▲4.9	0.9	4.5	47.1	6.5	4.8	0.0	15.2	26.1	▲25.9
	全国	▲0.5	▲2.0	1.8	12.9	▲11.4	▲7.4	6.3	▲1.6	▲1.6	▲19.5
負債総額	中国	11.5	▲47.5	▲6.5	66.7	15.0	28.7	36.4	77.6	169.3	▲31.9
	全国	57.8	▲53.1	▲4.2	▲34.4	17.9	▲16.9	48.1	7.9	▲16.9	▲37.4

(資料: ㈱東京商工リサーチ)

中国地域倒産件数・負債総額推移



8. 設備投資 ～ 2020年度計画は前年度を下回る見込み ～ (更新なし)

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2020年9月調査)によると、2020年度の設備投資計画(含む土地投資額)は製造業が前年度比0.9%、非製造業が同▲3.6%となり、全産業では同▲1.0%となっている。

◆企業短期経済観測調査結果(2020年9月調査)

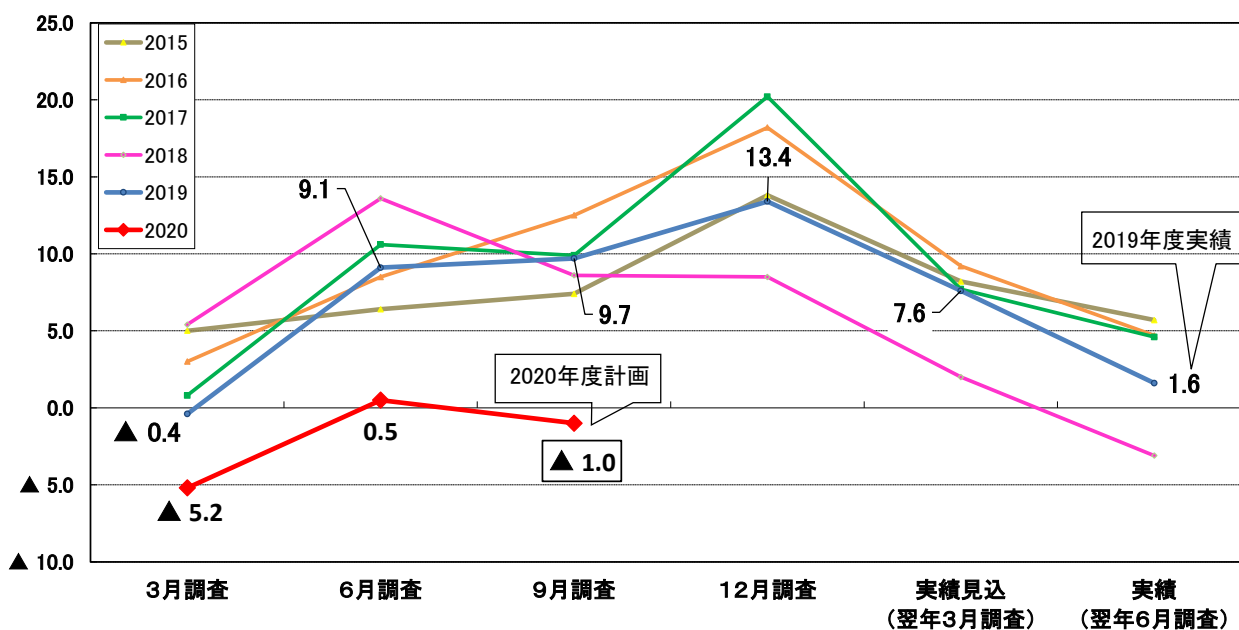
設備投資額(含む土地投資額)

(前年度比 %)

		2018年度実績	2019年度実績	2020年度計画
中国	全産業	▲3.1	1.6	▲1.0
	製造業	▲4.1	2.8	0.9
	非製造業	▲1.5	▲0.1	▲3.6
全国	全産業	6.6	▲0.6	▲2.7
	製造業	8.6	0.9	▲0.3
	非製造業	5.4	▲1.5	▲4.1

(資料:日本銀行、同広島支店)

(前年度比 %) 日銀短観による設備投資計画(中国地域:全産業)



(注) 横軸に初回調査(3月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したものの。

(資料:日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査」)